

# 第5回 日本体育大学救命蘇生研究会

## 病院前救護を見つめた

## ～回顧と展望～



神奈川県  
黒岩 祐治 知事



東京曳舟病院病 院長  
山本 保博 先生

主催: 日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科

後援: 東京消防庁 救助救急研究会

会長: 小川理郎 (救急医療学科 学科長)

開催日時: 2022年12月10日(土) 9:00～18:30

参加方法: 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス(世田谷区深沢7-1-1)での対面聴講  
または、Zoomでの遠隔聴講でご参加いただけます。

内 容: 救急救命士制度の誕生と創世記を築いたレジェンドによる豪華シンポジウム  
救急医療学科 在学生・卒業生・教員・医療従事者による研究発表と意見交換

参加費用: 無料

申し込み方法: 感染防止観点から会場の収容人員を管理するため、  
QRコードより参加登録をお願い致します。

申し込み期間: 2022年10月3日(月)～12月2日(金) ※延長いたしました。

問い合わせ先: 三橋 電話: 045-507-8538 メール: m-mitsuhashi@nittai.ac.jp

過去の日本体育大学救命蘇生研究会の様子は、  
日本体育大学救命蘇生・災害医療学研究室ホームページからご覧いただけます。  
<https://nittai-ems.com/educations/event/lifesaving-resuscitation-study-group/>

参加登録



# タイムスケジュール

9:00～9:10	<b>【開会式】</b>	開会の挨拶	救急医療学科 学科長 小川 理郎
9:10～11:15	<b>【シンポジウム】</b>	<b>「病院前救護の回顧と展望」</b>	座長：救急医療学科 学事顧問 野口英一
講演	救急救命士制度の誕生から現在に至る30年		救急医療学科 准教授 中澤 真弓
	日体大2014年、救急医療学科、ビッグバン（Big Bang）からの10年を迎えた大いなる進展		救急医療学科 学科長 小川 理郎
総合討論	病院前救護の大革命 救急救命士制度の誕生と創成期を築いた レジェンドからの最終提言		神奈川県知事 黒岩 祐治 保健医療学研究科 教授 / 東京曳舟病院 院長 山本 保博
			〈特別発言〉 日本体育大学 学長 石井 隆憲 学校法人日本体育大学 理事長 松浪 健四郎 学校法人日本体育大学 常務理事 今村 裕
11:30～12:15	<b>【ランチョンセッション】</b>	VR（Virtual Reality）体験 救急現場活動での驚きの3次元世界へご招待 ～最先端の教育技術の体験～	日本体育大学 准教授 鈴木 健介 救急救命専門指導教員 原田 諭
13:00～18:00	<b>第二部</b>		
13:00～13:40	<b>【教育講演】</b>	<b>「病院救命士の現状と未来」</b>	救急救命東京研修所 教授 田邊 晴山
13:40～14:45	<b>セッション1「教育」</b>	(発表時間6分、質疑応答3分)	
演題 1	シアトルパラメディックへの果てしなき挑戦（第2報）		保健医療学研究科 研究員 小玉 響平
演題 2	シアトルパラメディック招待プログラムが当学生に与えた反響 ～MEDIC II インストラクターがもたらしたもの～		救急医療学科 3年生 増田 尋斗
演題 3	社会人大学院生からのシアトル海外医療研修参加の意義		保健医療学研究科 修士課程1年 鶴 俊輔
演題 4	"日体ファミリー"を意識した大学における保護者会開催の意義		救急救命専門指導教員 原田 諭
演題 5	更なる学生教育の充実に動き出した、リメディアル教育・元年		救急救命専門指導教員 坂田 健吾
演題 6	消防本部と大学間連携に向けた新たな教育連携への試み ～山口市消防本部と当学科による相乗効果～		山口市消防本部 小林 靖史
14:55～15:35	<b>セッション2「実習」</b>	(発表時間5分、質疑応答3分)	
演題 7	未だに残る福島第一原発事故後の爪痕からの印象 ～山岳実習体験からの報告～		救急医療学科 4年生 濱 京志朗
演題 8	海上保安庁横浜海上防災基地の視察から学び得た愛護的ケアの重要性		救急医療学科 1年生 小松 みのり
演題 9	マスクを着用してのバッグ・バルブ・マスク換気についての研究		救急医療学科 4年生 関根 颯
演題 10	コロナ禍での救急車同乗実習体験2022 ～ふるさとのヒーローを目の当たりにして～		救急医療学科 3年生 堀込 実希
演題 11	病院実習で抱いた疑問についての検討～ECPR導入基準について～		救急医療学科 3年生 中林 勇翔
15:45～16:45	<b>【特別講演 1】</b>	<b>「知床観光船事故から学ぶ海難救助の実態と課題」</b>	公益社団法人 日本水難救済会 理事長 (元・第三管区海上保安本部長) 遠山 純司
16:45～17:25	<b>セッション3「活躍」</b>	(発表時間5分、質疑応答3分)	
演題 12	武蔵野赤十字病院における救急救命士の役割		武蔵野赤十字病院 山沖 将史
演題 13	日産サッカースタジアムにおける救護体制構築とその検討		救急救命専門指導教員 小倉 勝弘
演題 14	Jリーグ 横浜・Fマリノスの医療救護支援からの体験		救急医療学科 4年生 片平 達也
演題 15	厚生労働省 DMAT事務局でのコロナ対応奮闘報告		保健医療学研究科 修士課程1年 増留 流輝
演題 16	女性3名だけによる救急隊としての現場活動の可能性 ～電動ストレッチャーの有用性～		保健医療学研究科 修士課程1年 穂山 友里
17:30～18:00	<b>【特別講演 2】</b>	<b>「暗黒からの奇跡の覚醒。生まれ変わった人生観」</b>	日本体育大学群馬県同窓会 副会長 河崎 和代
18:00～18:30	<b>【開会式】</b>	閉会の挨拶、記念撮影	救急医療学科 学科長 小川 理郎